

槍ヶ岳 大喰岳西尾根から

2016年12月30日(金)～2017年1月1日(日)

メンバー:花村T(リーダー)、磯部S、犬山、K、久保田J、藤田、510、岩代、池田T(記録)

正月山行としては久々の大パーティーとなった。大人数での合宿は楽しく、天気にも恵まれて美しい冬山の景色を堪能できた。

ただ、大人数で何かと時間がかかって槍ヶ岳登頂には至らなかった。全員無事に下山出来たことは良かった。

12/30(金) 雪のち晴れ



新穂高の「登山者用駐車場」。29日夜の時点で8割方は埋まっていた。

雪が降る中、新穂高を出発。右俣林道は先行者のトレースが続いていた。

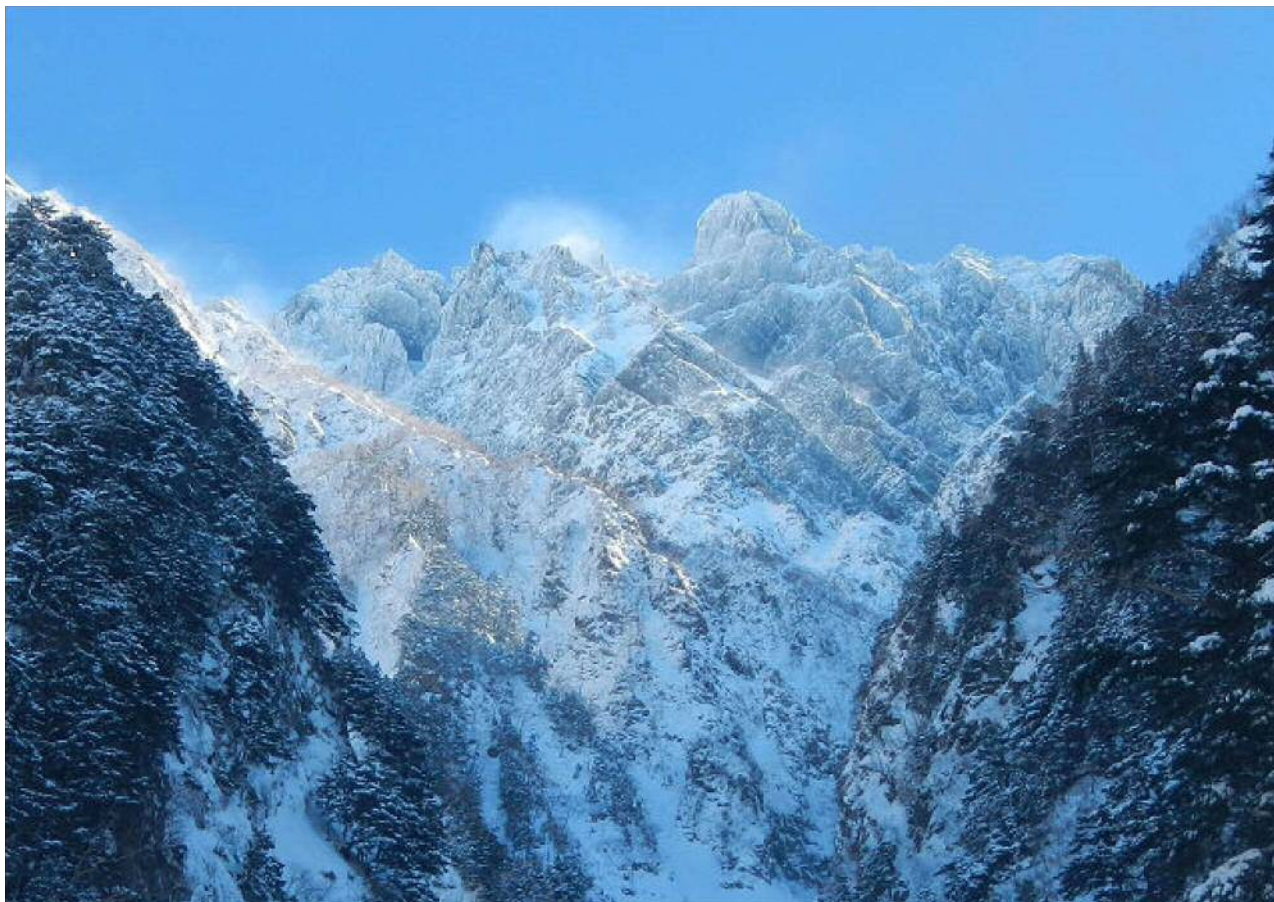


槍平に向けて右俣林道を歩き始める



穂高平避難小屋。だんだん晴れてきた。

白出沢の出会いで林道は終了。そこから先は登山道となる。積雪は深い所で50cmぐらいか？ただ、トレースがバッチリあるのでラッセルは全く無し。



凍てつく滝谷

天気は回復したが、稜線上に雪煙が舞っているのが見える。上空の風は強いようだ。



槍平。テントは全部で10張りほど。

槍平に到着。多くのテントは小屋の東か北側に張られていた。2007年大晦日の雪崩事故の教訓であろう。我々は冬季小屋の東側に2つ張った。
夕食はペミカンによる豚汁。大いに満足できた。

<タイム>新穂高7:50－穂高平避難小屋9:05～9:20－白出沢(林道終点)10:22～10:36
－滝谷出合12:16－槍平15:00

12/31(土) 快晴



夜明け前に出発。ヘッドランプを点けて歩く。

標高2200mあたりで飛騨沢を離れて大喰岳西尾根に取り付いた。（一般的には2400mあたりから取り付いていく）

尾根上は堅いクラスト層の上に10cm程度の新雪が乗っている状態。風はかなり吹いている。我々とほぼ同じ時間に出発したパーティーがあったが、彼らは途中から中崎尾根に登ったようだ。飛騨沢を登り詰めているパーティーは見られなかった。



大喰岳西尾根の標高2600m付近



大喰岳山頂にて。槍の穂先が良く見える。

尾根を登り切って主稜線に上がったのが12時少し前。槍の穂先は近くに見えるが、飛騨乗越まで一旦下って穂先を往復して戻って来るには3時間は要するであろう。槍平に戻れるのはおそらく18時過ぎ。既に真っ暗な時間だ。

残念だが大喰岳山頂にて引き返すことになった。



岩混じりの尾根を慎重に下って行く。



宝の木の下に集う人々

テントに戻ってホッと一息。明日は下山のみ。開放的な気分になって大晦日の宴会を楽しむ。
ちなみに夕食はペミカンベースのビーフシチュー。肉がゴロゴロ入っていてこれまた大満足であった。

<タイム> 起床4:00＝出発6:06－大喰岳山頂12:00～12:15－宝の木13:50－槍平15:10

1/1(日) 雪のち晴れ

夜半から降雪。テントを撤収して帰路につく。



小雪が降る中、新穂高へ。

<タイム> 起床6:00＝出発8:00－新穂高11:50

以上